



No. 2

「パックパックパック」「ウオー」隊長とスカウトたちの元気な呼び掛けから集会がはじまりました。今回の活動内容は、芝谷地湿原の動植物の観察です。芝谷地の湿原に詳しい、釈迦内山野草の会の畠山充一さんをインストラクターとしてお招きして、案内してもらいました。

整列したスカウトに隊長と畠山さんから注意事項が話され、いよいよ出発です。見たこともないような植物やトンボに「ウワー」「きれい」「かわいい」と歓声があがります。みんなが一番楽しみにしていたのが、食虫植物『モウセンゴケ』です。想像していたものよりずっと小さかったようで、目の前にありながらなかなか気付かませんでした。スカウトたちが言うことには「隊長、あれだば虫どご食べねよな」「んだ。テレ

ボーイスカウト活動

～ 芝谷地見学 ～

リポーター 畠山 真紀子さん
(二井山)

かなか認めたくないようでした。観察後、印象に残ったものを画用紙に描いてもらったところ、トンボのほか、意外にもモウセンゴケを描く子が多かったのに驚かされました。その後ソング、ゲームを楽しんでから、閉会儀礼や『仲よしの輪』をして散会です。子供を全員見送り、反省を話し合うと私たち指導者も解散し、今回の集会は終わりです。お疲れさまでした。

さて、ある日のボーイスカウトクラブの活動を紹介します。私たちが所属している隊の名称は、ボーイスカウト秋田第四団といます。秋田県で四番目に発足しました。第四団の歴史は古く、昨年四十周年を迎えました。

ボーイスカウトには、ビーバー(小一、二)、カブ(小三、四、五)、ボーイ(小六、中学生)、シニア(高校生)、ローバー(十八歳以上)の各スカウト隊がありますが、わが第四団ではローバー隊員がいまません。しかし、最盛期は別として、二十人足らずで活動してきたこの数年を思えば、現在の九十余名のスカウトを目の前にすると、感慨無量です。

ボーイスカウトには「ちかいかい」と「おきて」があります。詳細は省略しますが、自分の名誉にかけて自分自身に誓いをたてるのです。年代によって言葉は少し変わりますが、心は一緒です。社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体験・体得できるように努めています。

では、スカウト隊員が増えてからの活動を紹介します。



芝谷地湿原の観察

モウセンゴケ



畠山リポーター(右)

- ★基本訓練(合図、サイン、敬礼、整列の仕方など)
- ★街角ウォッチング(自分の住んでいる街を観察)
- ★ハイキング(雪の残っている道の「春」を捜しながら)
- ★ゲーム・工作(キックボーリング、紙コップロケット)
- ★奉仕活動(長木川クリーンアップ、ユニセフ募金、八幡平清掃登山)
- ★野外炊事(ブタ汁、山菜汁、カレーライス)
- ★自然観察(芝谷地湿原、岩神貯水池)
- ★オーバーナイトハイキング(暗い道を懐中電灯の明かりを頼りに)
- ★キャンプ(ボーイ隊一泊二日など、まだまだたくさんあります)

さて、ここまで読んでくださった皆さん！ボーイスカウトに興味がありましたか？私たちが指導者一同はもちろんボランティアですが、各講習会を受けたりして、自分自身も成長しようとして努力しています。皆さんのお子さんも一緒に活動させてみませんか？指導者・隊員一同お待ちしております。